

平成4年度に注目された病害虫試験薬剤

イネ・ムギ

殺虫剤

平成4年度一般委託試験の地域検討会は11月に、総合判定会議は12月15～17日に開催され、慎重に審議された。水稻、麦関係の害虫に対しては138製剤が委託試験に付された。各製剤は複数の害虫に対象とされ、合計322種類の試験が全国で反復試験された。うち天敵生物に対する影響は2薬剤について試験された。それらの中で、下表にまとめた単剤及びそれを上回る混合剤の158件に安定した効果が確認され、実用の域にあるものと判定された。混合剤では下表の殺虫有効成分のほかに、プロフェジン、RH-5992、イソプロチオラン、MEP、カルボスルファン、プロバホス、イミダクロプリド、ジメチルピホス、BPMC、クロルピリホスメチルを含有する殺虫剤あるいは殺虫殺菌剤に実用性が認められた。

害虫別にはツマグロヨコバイ、ウンカ類、ニカメイチュウ、コブノメイガ、カメムシ類、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの順に実用性が認められた薬剤が多かった。イネシンガレセンチュウに対しても育苗箱施用剤の実用性が認められた。実用性が認められた剤型では粉剤DLが圧倒的に多く、全体の68%、次いで育苗箱施薬剤の13%、水面施用剤の9%などが多かった。

今年度は飛来性のウンカ類、定住性のヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、イネドロオイムシなどに少発生判定不能の例があった。しかし少発生にもかかわらず試験面積を広く取ったり、試験区の設定に万全を期したり、調査標本数を増やすなど工夫を凝らして試験を行った例が見られたので、それほど多くの判定不能例はなかった。

カメムシに対する試験では対象虫が捕獲できなかったために、二次的な斑点米混入量で判定したり、普及を考慮して判定したものがあつた。次善の策としてやむを得ない側面もあるが、散布時期、発生量、散布回数などを十分考慮しないと試験薬剤に厳しさを要求してしまうことになりかねない。しかし、昨今、社会や普及場面において農薬の有効性と低廉性、薬剤施用の省力化、そして環境保全などが必要とされている折から、今後、試験、判定法について関係者間で十分論議する必要がある。

安定した実用的効果が認められた単剤

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象害虫	使用量
イネ			
AKD-1022粉剤	新規化合物 2%	ヒメトビ, セジロ, ツマグロ	4kg/10a, 散布
CG-162粒剤	フラチオカルブ 2.5%	イネミズ	40g/箱, 移植3日前
CG-162粒剤	フラチオカルブ 2.5%	ヒメトビ, セジロ, ツマグロ	50g/箱, 移植当日
エンバMC	ペルメトリン 10%	イネミズ	50倍200ml/箱, 移植当日
MTI-500MC	エトフェンプロックス 20%	カメムシ, ツマグロ	2,000倍, 散布
MTI-500MC	エトフェンプロックス 20%	ヒメトビウンカ	2,000倍, 散布
OK-8903粒剤	ベンフラカルブ 3%	イネミズ	40g/箱, 移植当日, 3日前
OK-8903粒剤	ベンフラカルブ 3%	ヒメトビ, セジロ	50g/箱, 移植当日, 3日前
OK-8903粒剤	ベンフラカルブ 3%	イネドロ	40g/箱, 移植3日前
オンコル粒剤5	ベンフラカルブ 5.0%	イネシンガレセンチュウ	60g/箱, 移植当日
パダン水和剤	カルタップ塩酸塩 50.0%	ニカメイチュウ	300g/10a, 側条施用
PP-682粒剤	フルフェンプロックス 1.0%	イネミズ, イネドロ	3kg/10a, 散布
PP-682粉剤	フルフェンプロックス 0.5%	イネドロ, ウンカ	3kg/10a, 散布
PP-682EW	フルフェンプロックス 15%	ヒメトビ, セジロ, カメムシ	1,000倍, 散布
RH5992水和剤	新規化合物 10%	コブノメイガ	1,000倍, 散布
RH5992粉剤 DL-75	新規化合物 0.75%	ニカメイチュウ	3kg, 4kg/10a, 散布
ルーバン粒剤	ベンスルタップ 4%	イネミズ	80g/箱, 移植当日
レルダン粒剤S	クロルピリホスメチル 5%	イネドロ	3kg/10a, 散布
シクロサルバック剤	シクロプロトリン 5%	イネミズ, イネドロ	600g/10a, 投げ込み

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象害虫	使用量
シラトップEW	シラフルオフェン 19.0%	カメムシ類	4kg/10a, 散布
シラトップ粉剤DL	シラフルオフェン 0.5%	ウンカ	3kg/10a, 散布
シラトップ粉剤DL	シラフルオフェン 0.5%	コバネイナゴ	4kg/10a, 散布
TI-304粒剤	ニテンピラム 1%	ウンカ	4kg/10a, 散布
TI-304粒剤	ニテンピラム 0.25%	ヒメトビ, セジロ	3kg/10a, 散布
トレボン粒剤	エトフェンプロックス 1.5%	ニカメイチュウ	3kg/10a, 散布
トレボンサーフ	エトフェンプロックス 1.0%	トビイロウンカ, ニカメイチュウ	500ml/10a, 水面滴下
トレボンサーフ	エトフェンプロックス 4%	イネミス, イネドロ	300ml/10a, 水面滴下
ムギ			
トレボン乳剤	エトフェンプロックス 20%	ムギクビレアブラムシ	2,000倍, 散布

(農業研究センター 平井一男)

殺菌剤

平成4年度のイネ・ムギ関係殺菌剤は合計221件について試験された。試験薬剤の病害別内訳はイネでは15病害に対し156件で、近年その防除が問題となっている種子伝染性のみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病に対しては33件で、いもち病、紋枯病に次いで多かった。また防除の省力化を狙った試験では剤型の異なる本田投げ込み型薬剤が注目された。またムギでは11病害に対し65件で、うどんこ病対象が最も多く、本年もEBI剤で極めて効果の高い薬剤が認められた。これらの薬剤の中で本年実用性有りと判定された薬剤数はいもち病に対し27、紋枯病16、ごま葉枯病7、ばか苗病6、もみ枯細菌病・苗立枯細菌病・褐条病11、その他2、ムギではうどんこ病8、赤かび病2、なまぐさ黒穂病、赤さび病、斑葉病が各1であった。これらの中で新規成分の薬剤、また注目された剤を下表に示す。

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害	使用量, 備考
イネ (種子消毒)			
KNF-320 フロアブル	イブコナゾール 5.0%, 水酸化第2銅 4.6%	もみ枯細菌, 苗立枯細菌, ばか苗病	200倍24時間・20倍10分浸漬, 20倍10%スラリー, 7.5倍3%吹付
HOF-9001 フロアブル	ベフラゾエート 16%, チウラム 26%	いもち病	200倍24時間, 20倍10%スラリー
スターナ水和剤	オキシロニック酸 20%	褐条病	20倍10分浸漬, 7.5倍3%吹付
ドイツボルドーA	塩基性塩化銅 84.1%	褐条病	20倍10分, 7.5倍3%吹付
テクリード乳剤	イブコナゾール 12.5%	ごま葉枯病, ばか苗病	300倍24時間浸漬
OK-8801水和剤 (育苗箱施薬)	新規化合物 30%	ばか苗病	500倍24時間, 50倍10分浸漬, 50倍10%塗布, 20倍3%吹付
0301粒剤	新規化合物 4%	いもち病	10倍3%吹付
カスミン粒剤	カスガマイシン 2%	褐条病	移植当日50g
フタバロン粉剤	カスガマイシン 5%, メタスルホカルブ 5%	もみ枯細菌病	育苗覆土混和20g
(本田散布)			
MON-240 0.85% 粉剤DL	チフルザミド 0.85%	もみ枯細菌病	育苗覆土1Lに3g混和
0301 フロアブル	新規化合物 15%	紋枯病	3kg/10a 散布
MON-240 2%粒剤	チフルザミド 2%	いもち病	1,500倍散布
S-658粒剤	新規化合物 1.5%	紋枯病	4kg/10a 散布
オリゼメート粒剤20	プロベナゾール 20%	紋枯病	3kg/10a 散布
ベフラン液剤25	イミノクタジン酢酸塩 25%	いもち病	1kg/10a
CG-193粒剤	ピロキロン 8%	穂枯れ, 稲こうじ病	2,000倍散布
(本田投げ込み剤)			
SF-9201	ピロキロン 24%	いもち病	4kg/10a, 1回散布

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害	使用量, 備考
ムギ (種子消毒) マネージ水和剤 ヘルシード水和剤 (本圃散布) アフガン乳剤 アルト液剤 シルバキュアEW NS-185乳剤 RPJ-362フロアブル SSF-129SC NF-144ドライフロアブル	イミペンコナゾール 15% ベフラゾエート 20% ピラゾホス 27.5% シプロコナゾール 9.7% テブコナゾール 23.5% トリアジメホン 100g/L, プロクロラズ 450g/L プロムコナゾール 200g/L 新規化合物 10% エポキシコナゾール 50%	なまぐさ黒穂病 斑葉病 うどんこ病 うどんこ病 うどんこ病 うどんこ病 赤さび病 うどんこ病, 赤さび病 眼紋病, うどんこ病, 赤さび病	種子0.2%乾・湿粉衣 0.4%種子乾粉衣 500, 1,000倍散布 3,000倍散布 1,000倍散布 1,000倍散布 1,000, 1,500倍散布 1,000, 2,000倍散布 (眼)2,000倍, (う)4,000倍, (赤) 4,000~6,000倍散布

(農業研究センター 内藤秀樹・福田徳治)

野菜・花き

殺虫剤

本年度は殺虫剤, 殺ダニ剤, 殺線虫剤等を合わせ, 182の薬剤が委託試験に付され, 総合判定会議において, 延べ284薬剤が実用性ありと判定された。作物の種類で47種, 害虫の種類は44種(〜類は1種と数えた)と多岐に渡った。これらの中には新規薬剤, 適用作物の拡大, 剤型や施用方法の変更, 濃度変更などが含まれる。

本年度で特徴的にいえることは, 生物農薬であるEN-STRIP(オンシツツヤコバチ)とSPIDEX(チリカブリダニ)が初めて実用性ありの判定を受けたことである。また, 多くの作物にわたって試験が行われた薬剤も多く, 三つ以上の作物で実用性ありの判定を受けた薬剤を示すと, コナガでガゼット粒剤, アオムシでCG-167水和剤, KM-202水和剤, シロイチモジヨトウでトレボンEW, アブラムシ類でCG-167水和剤, ペイオフME液剤, ガゼット粒剤, サンマイトフロアブル, TI-304水溶剤, マラパッサくん煙剤, アグロスリン乳剤, アディオン乳剤, トレボン乳剤, ハダニ類でアーデント水和剤, サンマイトフロアブル, ピラニカEW, テルスター水和剤, ダニトロンフロアブル, ネコブセンチュウでIKI-1145粒剤1.5, HCN-801-5%粒剤が上げられる。

ここでは, 紙面の都合から主要な作物のうち注目される薬剤に絞って, ごく一部を下表に示した。

主要な野菜・花きにおいて実用性ありの判定を受けた薬剤(一部)

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象害虫	使用量, 備考
キャベツ MK-242フロアブル OK-405水和剤31	新規化合物 10% ピリミカーブ 24%, BT 菌産出結 晶毒素 7%	コナガ コナガ, アブラムシ類	2,000倍 1,000倍
エビセクトDF CG-167水和剤 KM-202水和剤	チオシクラム 50% ジアフェンチウロン 50% BT 製剤	コナガ, アオムシ, アブラムシ類 アオムシ, アブラムシ類 アオムシ	1,000倍 1,500倍 2,000倍
ダイコン ダイアジノン粒剤 5 ステッド粒剤	ダイアジノン 5% エチルチオメトン 3%, ベンフラカルブ 3%	キスジノミハムシ キスジノミハムシ	6kg/10a 4kg/10a
ペイオフME液剤 ネマトリン粒剤	フルシトリネート 4.4% ホスチアゼート 1%	アオムシ, アブラムシ類 ネグサレセンチュウ	1,000倍 30kg/10a
ナス JT-201液剤 サンマイトフロアブル	オレイン酸カリウム 30% ピリダベン 20%	ハダニ類 ハダニ類, タバココナジラミ	50倍 1,500倍

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象害虫	使用量, 備考
TI-304粒剤	新規化合物 1%	アブラムシ類, ミナミキイロアザミウマ	2g/株
ラノー乳剤	ピリプロキシフェン 10%	ミナミキイロアザミウマ	1,000倍
ピラニカEW	テブフェンピラド 10%	チャノホコリダニ	2,000倍
ピーマン			
アドマイヤー1粒剤	イミダクロプリド 1%	アブラムシ類, ミナミキイロアザミウマ	1g/株
アーデント水和剤	acrinathrin 3%	ハダニ類	1,000倍
ダイズ			
トレボンEW	エトフェンプロックス 10%	マメシクイガ	1,000倍
ラービンフロアブル	チオジカルブ 32%	ハスモンヨトウ	750倍
ネギ			
ガゼット粒剤	カルボスルファン 3%	ネギコガ	6kg/10a
フローピア水和剤	カルタップ塩酸塩 40%, フルシトリネート 3%	ネギコガ	1,000倍
RH-5992フロアブル	新規化合物 20%	シロイチモジヨトウ	1,000倍
トマト			
EN-STRIP	オンシツツヤコバチ	オンシツコナジラミ	2頭以上/株, 3回
KI-61粒剤	ピラクロホス 3%, ピリダフェンチオン 3%	ネコブセンチュウ	30kg/10a
IKI-1145粒剤1.5	ホスチアゼート 1.5%	ネコブセンチュウ	20kg/10a
バレイショ			
TI-304水溶剤	新規化合物 10%	アブラムシ類	1,000倍
NI-20乳剤	トラロメトリン 1%, DDVP 40%	アブラムシ類	1,000倍
キュウリ			
TI-304粒剤	新規化合物 1%	アブラムシ類	2g/株
MTI-502くん煙剤	エトフェンプロックス 6%	アブラムシ類	20g/100m ³
イチゴ			
SPIDEX	チリカブリダニ	ハダニ類	60:1より多く
TMI-895AS	新規化合物 5%	ハダニ類	1,000倍
メロン			
ホスピットジェット	DDVP 15%	アブラムシ類	32g/400m ³
テルスターくん煙剤	ピフェントリン 2%	ハダニ類, アブラムシ類	30g/100m ³
トレボン乳剤	エトフェンプロックス 20%	タバココナジラミ	1,000倍
カーネーション			
テルスター水和剤	ピフェントリン 2%	ハダニ類	1,000倍
ロディー乳剤	フェンプロパトリン 7.5%	ハダニ類	2,000倍
キク			
TAI-108EW	ピリダフェンチオン 4%	アブラムシ類	100倍
アグロスリン乳剤	シベルメトリン 6%	キクヒメヒゲナガアブラムシ	2,000倍
バラ			
カスケード乳剤	フルフェノクスロン 10%	ハダニ類	1,000倍
アディオフロアブル	ベルメトリン 10%	アブラムシ類	1,500倍
ロディー VP くん煙顆粒	フェンプロパトリン 7%, DDVP 10%	アブラムシ類	20g/100m ³

(野菜・茶業試験場 浜村徹三)

殺菌剤

平成4年度に試験された薬剤は、野菜・花きなど59作物、125薬剤、502件(昨年度173薬剤、556件)であった(未了分を含む)。これらの中で、新規または未公表の化合物を有効成分とする薬剤は13(昨年度は混合剤を含めて31)であった。対象とされた病害は野菜類で157病害、花き類で31病害であった。これらの中から、過去の試験成績を含めて、実用性の有無または継続

の必要性について検討され、実用性ありと判断された薬剤の中から、とくに効果の高かった薬剤及び特記すべき薬剤を紹介する。

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害	使用量, 備考
トマト KUF-6201フロアブル ポリベリン水和剤	メバニピリム 40% イミノクタジン酢酸塩 5% ポリオキシシン B 15%	灰色かび病 灰色かび病	2000, 3000倍 1000倍
MBF-50ドライフロアブル スパットサイドフロアブル ジマンダイセン水和剤 ルビゲンくん煙剤	塩基性塩化銅 50% フルオルイミド 40% マンゼブ 75% フェナリモル 1%	疫病 疫病 疫病 葉かび病	500倍 500倍 800倍 40g/200m ³
ナス ルビゲン水和剤 CF-873くん煙顆粒	フェナリモル 12% ジエトフェンカルブ 12% プロシミドン 18%	すすかび病 灰色かび病	6000倍 8g/100m ³ くん煙
ピーマン オリゼメート粒剤 ラリー水和剤	プロベナゾール 8% マイクロブタニル 10%	斑点病 うどんこ病	5, 10g/株 4000, 6000倍
キュウリ CF-873くん煙顆粒 NNF-8905フロアブル ナレート水和剤 ダコニール1000 バイコラル水和剤 ベルコート水和剤 ジマンダイセン水和剤	ジエトフェンカルブ 12% プロシミドン 12% 8-ヒドロキシキノリン銅 35% オキソリニック酸 10% 8-ヒドロキシキノリン銅 50% TPN 40% ピテルタノール 25% イミノクタジンアルキルベンゼン スルフォン酸塩 40% マンゼブ 75%	灰色かび病 炭そ病 炭そ病 褐斑病 うどんこ病 うどんこ病 べと病	8g/100m ³ 1000, 1500倍 1000倍 1000倍 2500, 5000倍 4000倍 800倍
メロン フジオキシラン水和剤 ポリオキシシン AL 水和剤	キャプタン 20% 8-ヒドロキシキノリン銅 30% ポリオキシシン複合体 50%	斑点細菌病 つる枯病	400, 600倍 10, 50倍塗布
カボチャ AKD-5015フロアブル サルファーゾル アリエッテイ水和剤 サンドファンC水和剤 サンドファンC水和剤	硫黄 52% 硫黄 52% ホセチル 80% オキサジキシル 10% 塩基性塩化銅 64.3% オキサジキシル 10% 塩基性塩化銅 64.3%	うどんこ病 うどんこ病 べと病 疫病 褐斑細菌病	1000倍 1000倍 400, 800倍 750倍 500, 750倍
スイカ スミブレンド水和剤 ベフドー水和剤	ジエトフェンカルブ 12.5% プロシミドン 37.5% イミノクタジン酢酸塩 2.5% 塩基性塩化銅 73.5%	つる枯病 炭そ病	1500, 2000倍 500倍
ダイコン リゾレックス粉剤	トルクロホスメチル 5%	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20, 40kg/10a(全面処理)
キャベツ CG-169水和剤	メタラキシル 25%	立枯性病害 (ピシウム菌)	0.3, 0.5% 種子粉衣

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害	使用量, 備考
NCS ロニランドライフロアブル コサイドボルドー水和剤	カーバム 50% ピンクロゾリン 50% 水酸化第2銅 76.8%	根こぶ病 菌核病 黒腐病	3倍 90L/10a 2000倍 1000倍
ハクサイ NCS アリエッティ水和剤 テレオ水和剤 バクテサイド水和剤	カーバム 50% ホセチル 80% オキシロニック酸 10% 塩基性塩化銅 60% オキシテトラサイクリン 1% ストレプトマイシン 10% 水酸化第2銅 38.4%	根こぶ病 べと病 軟腐病 軟腐病	3倍 90L/10a 1500倍 1000倍 1000倍
ブロッコリー フロンサイド水和剤 スターナ水和剤	フルアジナム 0.5% オキシロニック酸 20%	根こぶ病 軟腐病	 15, 20kg/10a(作条処理) 30kg/10a(全面処理) 2000倍
ナバナ フロンサイド粉剤	フルアジナム 0.5%	根こぶ病	30, 40kg/10a(全面処理)
タマネギ FT-891水和剤 スパットサイドフロアブル クリーンヒッターフロアブル フロンサイド水和剤 フロンサイド水和剤 KF-9002水和剤 RH-8801顆粒水和剤 アリエッティボルドー水和剤	フルアジナム 50%, ホセチル 50% フルオリミド 40% オキサジキシル 6.4%, TPN 32% フルアジナム 50% フルアジナム 50% 塩基性塩化銅 58.8% マンゼブ 75% ホセチル 25% 塩基性塩化銅(銅 25%)	ボトリチス葉枯症 ボトリチス葉枯症 白色疫病 白色疫病 灰色腐敗病 べと病 べと病 軟腐病	1500倍 500倍 1000倍 1000倍 2000倍 800倍 600倍 500倍
レタス ゲッター水和剤 ロニランドライフロアブル	ジエトフェンカルブ 12.5% チオファネートメチル 52.5% ピンクロゾリン 50%	灰色かび病 灰色かび病	1000, 1500倍 1500倍
ニンジン リゾレックス粉剤	トルクロホスメチル 5%	根腐病	20kg/10a(全面処理)
ホウレンソウ リゾレックス粉剤 テクトジン水和剤	トルクロホスメチル 5% オキサジキシル 8% スルフェン酸系 35%	根腐病 べと病	20, 40kg/10a(全面処理) 800, 1000倍
アスパラガス トリフミン水和剤 ポリベリン水和剤 ポリベリン水和剤 フロンサイド水和剤	トリフルミゾール 30% イミノクタジン酢酸塩 5%, ポリオキシシン B 15% イミノクタジン酢酸塩 5% ポリオキシシン B 15% フルアジナム 50%	立枯病 灰色かび病 茎枯病 斑点病	1000倍 3L/m ³ 灌注 1000倍 1000倍 2000倍
イチゴ KUF-6201フロアブル SRKくん煙剤 イオウゾル	メパニピリム 40% ピリフェノックス 5% 硫黄 52%	灰色かび病 うどんこ病 うどんこ病	2000, 3000倍 10g/100m ³ 800倍

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害	使用量, 備考
RPJ-364フロアブル CF-873くん煙顆粒	ブロムコナゾール 100g/L ジエトフェンカルブ 12% プロシミドン 18%	炭そ病 灰色かび病	2500, 4000倍 8g/100m ³ くん煙
ジャガイモ FT-891水和剤 MBF-182フロアブル SKF-9002水和剤 HOF-8903水和剤 コサイドボルドー水和剤	フルアジナム 50%, ホセチル50% プロパモカルブ塩酸塩 248g/L マンゼブ 301.6g/L 塩基性塩化銅 58.8% dimethomorph 15% オキシリニック酸 10% カスガマイシン 2.5% 水酸化第2銅 76.8%	疫病 疫病 疫病 軟腐病 軟腐病	2000倍 250, 400倍 600, 800倍 500倍 1000倍
エンドウ BJL-861微粒剤	ダゾメット 98%	苗立枯病	20, 30kg/10a
ダイズ CG-169水和剤 NF-143粉剤 DL デュボンベンレート	メトラキシル 25% エトフェンプロックス 0.5% チオファネートメチル 3% チウラム 20%, ベノミル 20%	立枯性病害(ピシウム菌) 紫斑病 紫斑病	0.3, 0.5%種子粉衣 3, 4kg/10a 0.4%種子粉衣
インゲンマメ Zボルドー水和剤	塩基性塩化銅 58%	かさ枯病	500倍
サツマイモ 非病原性フザリウム菌	非病原性フザリウム菌5×10 ⁸ 個/g	つる割病	500倍苗切り口17時間浸漬
コンニャク リドミル粒剤 スターナ水和剤 テレオ水和剤	メトラキシル 2% オキシリニック酸 20% オキシリニック酸 10% 塩基性塩化銅 60%	根腐病 腐敗病 葉枯病	5kg/10a(培土時) 30, 50, 100倍吹き付け 1000倍
テンサイ アルト液剤 グリーンダイセン M 水和剤 カスミンボルドー	シプロコナゾール 9.7% マンゼブ 75% カスガマイシン 5% 塩基性塩化銅(銅 45%)	褐斑病 褐斑病 斑点病	3000倍 500倍 800倍
ショクヨウユリ ルミライト水和剤	チオファネートメチル 45% トリフルミゾール 15%	鱗茎さび病	35倍瞬間球根浸漬
キク CG-19乳剤 マネージ乳剤 NCS	プロピコナゾール 25% イミベンコナゾール 5% カーバム 50%	白さび病 黒さび病 苗立枯病	3000倍 500, 1000倍 3倍 90L/10a
バラ NNIF-9222エアゾール NNIF-9222エアゾール	ブプロフェジン 0.1% ペルトメトン 0.2% マイクロブタニル 0.1% ブプロフェジン 0.1% ペルトメトン 0.2% マイクロブタニル 0.1%	黒星病 うどんこ病	原液 原液

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害	使用量, 備考
トルコギキョウ ゲッター水和剤	ジェトフェンカルブ 12.5% チオファネートメチル 52.5%	灰色かび病	1000, 1500倍
ポリオキシシンAL水和剤	ポリオキシシン複合体 50%	灰色かび病	2500倍
ユリ フロンサイド水和剤	フルアジナム 50%	鱗茎さび病	100, 200倍瞬間球根浸漬
リンドウ グコニール1000 ペフラン水和剤	TPN 40% イミノクタジン酢酸塩 25%	葉枯病 葉枯病	1000倍 1500倍
ボケ TGA-54エアゾール	エトフェンプロックス 0.1% ヘキサコナゾール 0.002%	赤星病	原液

(野菜・茶業試験場 手塚信夫)

果 樹

殺 虫 剤

平成4年度の果樹農薬連絡試験ではリングで45, オウトウ9, ハスカップ1, カンキツ47, 落葉果樹63合計165種の殺虫剤が試験された。これらの薬剤はいずれも現在使用されている殺虫剤の欠点を補うべく将来を期待されているものである。殺虫剤の効果試験に対しては色々の注文があるが、試験を取り巻く環境は年々窮屈になっている。将来の事を考え効率的な試験法の開発が望まれる。

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病虫害	使用量, 備考
リング			
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	モモシクイガ	2000倍
サイハロン水和剤	シハロトリン 5%	〃	3000倍
アデイオン水和剤	ベルメトリン 20%	〃	3000倍
アグロスリン水和剤	シベルメトリン 6%	〃	2000倍
MTI-500MC	エトフェンプロックス 10%	〃	1000倍
RH-5992フロアブル		ハマキムシ類	1500倍
アタプロンSC	クロルフルアズロン 10%	〃	3000倍
XRD-473フロアブル	ヘキサフルムロン 7%	〃	2000倍
アーデント水和剤	アクリナスリン 3%	ハダニ類	1000倍
AKD-2025乳剤	?	〃	1000倍
TMI-895AS	?	〃	1000倍
サンマイト顆粒水和剤	ピリダベン 65%	〃	5000倍
サンマイト水和剤	ピリダベン 20%	リングサビダニ	1000倍
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	キンモンホソガ	2000倍
アグロスリン水和剤	シベルメトリン 6%	ギンモンハモグリガ	2000倍
アデイオン水和剤	ベルメトリン 20%	〃	3000倍
TI-304水和剤	ニンテンピラム 10%	アブラムシ類	1000倍
アタプロンSC	クロルフルアズロン 10%	ヒメシロモンドクガ	3000倍
バイスロイドEW	シフルトリン 5%	ミバエ	4000倍
ピラニカ水和剤	テテブフェンピラド 10%	ミバエ	2000倍
カンキツ			
AKD-2025フロアブル	?	ミカンハダニ	1000倍
AKD-2025乳剤	?	〃	1000倍
SU-8801-DF		〃	4000倍

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病虫害	使用量, 備考
TAI-103乳剤	フルプロキシフェン 5% ピリダフェンチオン 20%	〃	1000倍
フロンサイド SC	フルアジナム 50%	〃	2000倍
サンマイト顆粒水和剤	ピリダベン 65%	〃	10,000倍
AKD-5015フロアブル	?	ミカンサビダニ	800倍
OK-9103フロアブル	硫黄 50%	〃	400倍
サルファーゾル	硫黄 52%	〃	500倍
アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド 10%	アブラムシ類	4000倍
SA-8903水和剤	フェンバレレート 10%, NAC 20%	〃	2000倍
ヤマセット水和剤	マラソン 15%, NAC 20%	〃	500倍
NC-169水和剤	ピフェントリン 1.5%, PAP 35%	〃	1000倍
セビンフロアブル	NAC 42%	〃	500倍
サンマイト水和剤	ピリダベン 20%	チャノキイロアザミウマ	2000倍
CG-167水和剤	ジアフェンチウロン 50%	〃	1500倍
アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド 10%	〃	4000倍
ベイオフME	フルシトリネート 4%	〃	1500倍
オリオン水和剤	アラニカルブ 40%	コナカイガラムシ	1000倍
NNI-825乳剤	アミトラズ 10% ブプロフェジン 10%	ロウムシ類	750倍
アグロスリン水和剤	シベルメトリン 6%	カメムシ類	2000倍
テルスター水和剤	ピフェントリン 2%	〃	2000倍
セビンフロアブル	NAC 42%	コアオハナムグリ ケシクスイ	500倍
ビワ			
ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート 5%	アブラムシ	2000倍
キウイフルーツ			
サンマイト水和剤	ピリダベン 20%	チャノヒメハダニ	1500倍
ナシ			
ノンマイト水和剤	フェンプロバトリン 7.5% ヘキシチアゾクス 5%	アブラムシ類	1500倍
ロデーフロアブル	フェンプロバトリン 7.5%	〃	1000倍
ベイオフME液剤	フルシトリネート 4%	〃	2000倍
セビンフロアブル	NAC 42%	〃	500倍
ヤマセット水和剤	マラソン 15%, NAC 20%	シンクイムシ類	500倍
パーマチオン水和剤	フェンバレレート 10%, MEP 30%	〃	2000倍
ロデー水和剤	フェンプロバトリン 10%	〃	1500倍
NI-20乳剤	トラロメトリン 1%, DDVP 40%	〃	1000倍
ベイオフME	フルシトリネート 4%	〃	1500倍
セビンフロアブル	NAC 42%	〃	500倍
ラービフロアブル	チオジカルブ 32%	〃	750倍
ノーモルト水和剤	テフルベンズロン 5%	〃	2000倍
アタブロンSC	クロルフルアズロン 10%	ハマキムシ類	3000倍
アグロスリン水和剤	シベルメトリン 6%	〃	2000倍
AKD-2025乳剤	?	ハダニ類	1000倍
SI-9009乳剤	ミルベメクチン 1%	〃	1000倍
MTI-732EW	プロフェンブロックス 10%	〃	1000倍
ハービ液剤	ピアラホス 18.0%	〃	200倍
MTI-732乳剤	プロフェンブロックス 10%	ナシサビダニ	1000倍
MTI-732EW	プロフェンブロックス 10%	〃	1000倍

作物名 薬剤名・剤型	有効成分、含有量	対象病害虫	使用量、備考
モモ			
アーデント水和剤	アクリナスリン 3%	アブラムシ類	1000倍
ノンマイト水和剤	フェンプロパトリン 7.5% ヘキシチアゾクス 5%	〃	1500倍
マブリックジェット	フルバリネート 15%	〃	50g・燻煙
カスケード乳剤	フルフェノクスロン 10%	モモハモグリガ	4000倍
KI-63乳剤	?	〃	1000倍
アデオオン水和剤	ベルメトリン 20%	〃	3000倍
アデオオンフロアブル	ベルメトリン 10%	〃	1500倍
ロデー乳剤	フェンプロパトリン 10%	〃	2000倍
マブリック EW	フルバリネート 19%	〃	2000倍
セビンフロアブル	NAC 42%	〃	500倍
アーデント水和剤	アクリナスリン 3%	ハダニ類	1000倍
SI-9009乳剤	ミルベメクチン 1%	〃	1000倍
タイトル乳剤	フェニソプロモレート 30% ヘキシチアゾクス 5%	〃	1500倍
アプロード水和剤	アプロフェジン 25%	カイガラムシ類	1000倍
ウメ			
マブリック EW	フルバリネート 19%	アブラムシ類	4000倍
ブルー			
アデオオンフロアブル	ベルメトリン 10%	アブラムシ類	1500倍
ブドウ			
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	チャノキイロアザミウマ	2000倍
アグロスリン水和剤	シベルメトリン 6%	〃	3000倍
ノンマイト水和剤	フェンプロパトリン 7.5% ヘキシチアゾクス 5%	〃	1500倍
サンマイトフロアブル	ピリダベン 20%	〃	1500倍
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	フタテンヒメヨコバイ	2000倍
アデオオンフロアブル	ベルメトリン 10%	〃	1500倍
マブリック EW	フルバリネート 19%	〃	8000倍
オマイト水和剤	BPPS 30%	ハダニ類	1000倍
ピラニカ水和剤	テテブフェンピラド 10%	〃	2000倍
カキ			
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	カキクダアザミウマ	2000倍
アーデント水和剤	アクリナスリン 3%	〃	1000倍
サイハロン水和剤	シハロトリン 5%	〃	3000倍
ロデー乳剤	フェンプロパトリン 10%	〃	2000倍
パーマチオン水和剤	フェンバレレート 10%、MEP 30%	〃	〃
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	チャノキイロアザミウマ	2000倍
パーマチオン水和剤	フェンバレレート 10%、MEP 30%	〃	2000倍
ノンマイト水和剤	フェンプロパトリン 7.5% ヘキシチアゾクス 5%	〃	1500倍
テルスター水和剤	ピフェントリン 2%	〃	2000倍
シラトップ水和剤	シラフルオフェン 20%	カメムシ類	2000倍
アーデント水和剤	アクリナスリン 3%	〃	1000倍
テルスター水和剤	ピフェントリン 2%	〃	2000倍
ロデー乳剤	フェンプロパトリン 10%	カキノヘタムシガ	1500倍
マブリック EW	フルバリネート 19%	〃	2000倍

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病虫害	使用量, 備考
ノンマイト水和剤	フェンプロパトリン 7.5%, ヘキシチアゾクス 5%	ハダニ類	1500倍
ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート 5%	〃	500倍
サンマイト水和剤	ピリダベン 20%	〃	1000倍

(果樹試験場 高木一夫)

殺菌剤

平成4年度の果樹関係農薬連絡試験では、リンゴ44剤、オウトウ6剤、ナシ32剤、モモ22剤、その他核果類9剤、ブドウ26剤、カキ20剤、カンキツ25剤、キウイフルーツ7剤がそれぞれ供試された。供試剤の特徴としては、既知水和剤のフロアブル化並びにEBI剤との混合剤が目立った。以下、効果及び薬害の面から検討が加えられ、実用性の認められた薬剤を樹種別に列記した。

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病虫害	使用量, 備考
リンゴ			(倍)
フルトップDF	ジラム 37.5% チウラム 22.5% ピリフェノックス 2.0%	すす点・すす斑病	750
ポルックス水和剤	ホセチル 40%	輪紋病	1000
マネージ水和剤	イミベンコナゾール 15%	すす点・すす斑病	2000
ジアリン水和剤	ジチアノン 25% 8-ヒドロキシキノリン銅 35%	輪紋病	600
PR-065水和剤	キャプタン 60% ヘキサコナゾール 1%	赤星病 斑点落葉病 うどんこ病	800
RPJ-364フロアブル	ブロムコナゾール 10%	黒星病	4000
FT-891水和剤	フルアジナム 20% ホセチル 50%	斑点落葉病	1500
FT-911SC	フルアジナム 15% チオファネートメチル 25%	斑点落葉病	800
ベースト状ボルドー液A	硫酸銅 7.9% 水酸化カルシウム 29.9% 展着剤 0.7%	斑点落葉病	20
パスポートフロアブル	TPN 53%	すす点・すす斑病 褐斑病	1000 1000
OK-9102ドライフロアブル	ジラム 50% チウラム 30%	斑点落葉病	600
KUF-6201フロアブル	メパニピリム 40%	斑点落葉病 黒星病	2000
KUF-9101水和剤	ジラム 43.7% チウラム 26.3% メパニピリム 10%	赤星病 斑点落葉病 黒点病	1000
ポリベリン水和剤	イミノクタジン酢酸塩 5% ポリオキシシンB 15%	黒星病	1500
RH-7592フロアブル	fenbuconazole 22%	赤星病, 黒星病	8000
デランフロアブル	ジチアノン 40%	モニリア病	1000
ベルコート水和剤	イミノクタジンアルキル 40%	褐斑病	1000
ベフラン液剤25	ベンゼンスルホン酸塩 40% イミノクタジン酢酸塩 25%	すす点・すす斑病 黒星病 褐斑病	1500 1500 2000

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害虫	使用量, 備考
TF-163水和剤	ヘキサコナゾール 0.5% マンゼブ 65%	赤星病	500
RH-8801顆粒水和剤	マンゼブ 75%	斑点落葉病	600
ブローダ水和剤	マンゼブ 65% ミクロブタニル 2%	黒点病	500
オキシンドーフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	黒星病	1000
サイクルストップ水和剤	ジラム 50% ピリフェノックス 2%	黒星病	600
スペックス水和剤	ジラム 50% チウラム 30% フェナリモル 1.8%	黒星病 斑点落葉病	800
NS-178水和剤	fluquinconazole 25%	赤星病, 黒星病	5000
NF-116水和剤	チオファネートメチル 20% ホセチル 60%	斑点落葉病	600
RNF-137水和剤	ジラム 25% チウラム 25% ホセチルAL 30%	黒星病	500
スコア水和剤10	ジフェノコナゾール 10%	斑点落葉病 うどんこ病	4000 3000
NNF-8905フロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	すす点・すす斑病	1000
バイレトン水和剤5	トリアジメホン 5%	黒星病	1000
YF-5452水和剤	ジラム 50% チウラム 30% ヘキサコナゾール 1%	黒星病, 赤星病 斑点落葉病 黒点病	1000
オウトウ			
RPJ-364フロアブル	ブロムコナゾール 10%	灰星病	2500
RPJ-916フロアブル	イプロジオン 50%	灰星病	1000, 1500
カンキツ			
キノンドーフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	そうか病 黒点病	600 800
キンセット水和剤80	水酸化第2銅 20% 8-ヒドロキシキノリン銅 60%	かいよう病	1000
FT-911SC	フルアジナム 15% チオファネートメチル 25%	そうか病 灰色かび病	750, 1000
フロンサイドSC	フルアジナム 50%	そうか病, 灰色かび病	2500
OK-9103フロアブル	硫黄 50% 塩基性硫酸銅 8.4%	黒点病	400
ベルコート水和剤	イミノクタジナルキル ベンゼンスルホン酸塩 40%	灰色かび病	1000
DRF-801水和剤	イプロジオン 30% イミノクタジナルキル ベンゼンスルホン酸塩 20%	灰色かび病	1000
CF-873くん煙顆粒	ジエトフェンカルブ 12% プロシミドン 18% ベノミル 50%	灰色かび病	13g/100㎡
ベンレートドライフロアブル	ベノミル 50%	そうか病	2000
オキシンドーフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	黒点病	800
ロブラールフロアブル	イプロジオン 23%	灰色かび病	1200
ピワ			
ベンレート水和剤	ベノミル 50%	ごま色斑点病	1000, 2000
マンゴー, パパイア			
オーソサイド水和剤80	キャプタン 80%	炭そ病	600
キウイフルーツ			
FT-891水和剤	フルアジナム 15%	果実腐敗病	1000

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害虫	使用量, 備考
ナシ	チオファネートメチル 25%		
PR-065水和剤	ヘキサコナゾール 1% キャプタン 60%	うどんこ病	800
キノンドーフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	輪紋病	800
RPJ-364フロアブル	ブロムコナゾール 10%	黒星病	4000
FT-891水和剤	フルアジナム 20% ホセチル 50%	輪紋病	1000
FT-911フロアブル	フルアジナム 15% チオファネートメチル 25%	黒星病, 輪紋病	500 800
フロンサイドフロアブル	フルアジナム 50%	黒斑病, 輪紋病	2000
KUF-9101水和剤	メパニピリム 10% チウラム 26.3% ジラム 43.7%	黒斑病, 輪紋病	1000
RH-7592フロアブル	フェンブコナゾール 22%	黒星病	8000
デランフロアブル	ジチアノン 40%	輪紋病	1000
DRF-801水和剤	イミノクタジンアルキル ベンゼンスルホン酸塩 20% イプロジオン 30%	黒斑病	2000
DF-282水和剤	イミノクタジンアルキル ベンゼンスルホン酸塩 20% チウラム 50%	輪紋病 黒斑病	500 1000
ルビゲン水和剤	フェナリモル 12%	うどんこ病	3000
オキシンドー80ドライフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 80%	黒星病	1600
オキシンドーフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	黒星病	1000
ホシカット水和剤	ピテルタノール 4% チウラム 24% ジラム 40%	黒星病	600
YF-5452水和剤	ヘキサコナゾール 1% ジラム 50% チウラム 30%	黒星病, 赤星病	1000
アリエッティ水和剤	ホセチル 80%	黒斑病 (休眠期)	100
モモ			
AKD-5015フロアブル	硫黄 52%	黒星病	800
RPJ-364フロアブル	ブロムコナゾール 10%	灰星病	2500
ダコレート水和剤	TPN 50% ベノミル 20%	黒星病	1000
パルノックス水和剤	ジラム 50% チウラム 30%	せん孔細菌病	500
KUF-6201水和剤	メパニピリム 40%	黒星病	2000
RH-7592フロアブル	フェンブコナゾール 22%	灰星病	5000
デランフロアブル	ジチアノン 40%	灰星病	600
ベルコート水和剤	イミノクタジンアルキル ベンゼンスルホン酸塩 40%	ホモブシス腐敗病	2000
スベックス水和剤	フェナリモル 1.8% ジラム 50% チウラム 30%	灰星病	500
オキシンドー水和剤80	8-ヒドロキシキノリン銅 80%	黒星病	1000
トップジンMドライフロアブル	チオファネートメチル 70%	ホモブシス腐敗病	1500
ブルーク水和剤	トリフルミゾール 8% TMTD 40% ジラム 32%	灰星病	1000
マネージ水和剤	イミベンコナゾール 15%	黒星病	1000

作物名 薬剤名・剤型	有効成分, 含有量	対象病害虫	使用量, 備考
ウメ			
AKD-5015フロアブル	硫黄 52%	黒星病	800
デランフロアブル	ジチアノン 40%	すす点症	2000
マネージ水和剤	イミベンコナゾール 15%	黒星病	2000
イオウゾル	硫黄 52%	黒星病	500
スモモ			
ロニランドライフフロアブル	ピンクロゾリン 50%	灰星病	1500
ブルーク水和剤	トリフルミゾール 8%	ふくろみ病	500
	TMTD 40%	(休眠期)	
	ジラム 32%		
ブドウ			
FT-911フロアブル	フルアジナム 15%	枝膨病 (休眠期)	100
	チオファネートメチル 25%		
フロンサイドフロアブル	フルアジナム 50%	黒とう病, 枝膨病	2000
ペースト状ボルドー液G-1	水酸化カルシウム 18.7%	べと病	25
	硫酸銅 14.7%	(果房汚染顕著)	
ペースト状ボルドー液G-2	水酸化カルシウム 24.9%	べと病	25
	硫酸銅 9.8%	(果房汚染顕著)	
KUF-6201フロアブル	メパニピリム 40%	灰色かび病	2000
ロニランドライフフロアブル	ピンクロゾリン 50%	灰色かび病 (開花期)	2000
RH-7592フロアブル	フェンブコナゾール 22%	黒とう病	8000
デランフロアブル	ジチアノン 40%	黒とう病	1000
DRF-801水和剤	イミノクタジンアルキル 20%	灰色かび病	1000
	ベンゼンスルホン酸塩 30%		
ベフラン液剤25	イミノクタジンアルキル 25%	黒とう病, 枝膨病	1000
	ベンゼンスルホン酸塩 50%		
ベンレート水和剤	ベノミル 50%	晩腐病 (休眠期)	500
ベンレートドライフロアブル	ベノミル 50%	黒とう病 (休眠期)	200
ボルックス水和剤	ホセチル 40%	べと病	1000
	8-ヒドロキシキノリン銅 40%		
RPJ-916フロアブル	イプロジオン 50%	灰色かび病	1000
カキ			
オキサシン水和剤	フェナリモル 3%	落葉病	1000
	8-ヒドロキシキノリン銅 65%		
キノンドーフロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	落葉病, うどんこ病	800
ポリベリン水和剤	ポリオキシシンB 15%	灰色かび病	1000
	イミノクタジン酢酸塩 5%		
ベフキノン水和剤	イミノクタジン酢酸塩 7%	炭そ病, 落葉病	1000
	8-ヒドロキシキノリン銅 50%		
カキ			
ベルコート水和剤	イミノクタジンアルキル 40%	落葉病	1000
	ベンゼンスルホン酸塩 5%		
ポジグロール水和剤	ピリフェノックス 8%	炭そ病	1000
ブルーク水和剤	トリフルミゾール 40%	落葉病	1000
	TMTD 32%		
	ジラム 35%		
NNF-8905フロアブル	8-ヒドロキシキノリン銅 35%	炭そ病 うどんこ病	800

(果樹試験場 工藤 晟)